



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3109 URL http://www.shikibo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清原 幹夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 竹田 広明 (TEL) 06-6268-5411
 コーポレート部門長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,499	△5.9	457	△21.6	375	△26.7	277	△14.9
2019年3月期第1四半期	10,094	0.4	584	△9.3	513	△8.0	326	△5.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 232百万円(△6.9%) 2019年3月期第1四半期 249百万円(△27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.75	—
2019年3月期第1四半期	30.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	83,746	32,237	36.9
2019年3月期	84,949	32,460	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,902百万円 2019年3月期 31,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	20,100	0.5	1,200	9.9	1,000	5.1	600	△12.3	—	55.64
通期	41,500	1.7	2,600	8.0	2,200	4.1	1,400	—	—	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期1Q	11,810,829株	2019年3月期	11,810,829株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,027,261株	2019年3月期	1,027,097株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	10,783,609株	2019年3月期1Q	10,793,349株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは持続的成長に向けたチャレンジの最終ステージとして、昨年度、中期経営計画「Challenge to the Growth final stage 2018-2020」をスタートいたしました。繊維セグメントでは「自らの得意とする市場に対し独自技術で独自の素材の供給」と「企業間取引(B to B)の強化」、産業材セグメントの産業資材部門では「国内基盤の維持・強化と海外販売の促進・拡大」、機能材料部門では「新中核事業に位置付ける化成品事業、複合材料事業のさらなる業容拡張と収益拡大」を事業戦略に掲げ、取り組みを推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は94億99百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は4億57百万円(同21.6%減)、経常利益は3億75百万円(同26.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億77百万円(同14.9%減)となりました。

(繊維セグメント)

原糸販売事業では、国内市場は中高級衣料品の需要低迷の影響により苦戦いたしました。一方で、海外市場においてはベトナム、インドネシア生産糸の販売拡大が進んでおります。

輸出衣料事業では、中東民族衣装用生地輸出は現地の市況低迷が続いておりますが、流通在庫の減少に伴い、引き合いは増加しております。

ユニフォーム事業では、ユニフォーム製品販売は順調に推移いたしましたが、前期より継続する原燃料価格や物流費の上昇が利益を圧迫いたしました。

生活資材事業では、リビング分野は取引先の在庫調整等により苦戦いたしましたが、リネン資材分野は順調に推移いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は50億61百万円(前年同期比9.1%減)となり、営業利益は1億25百万円の営業損失(前年同期は57百万円の営業損失)となりました。

(産業材セグメント)

産業資材部門では、製紙用ドライヤーカンバス事業は、主要顧客である国内製紙会社の洋紙生産量の減少により、カンバス需要が低調に推移し減収となりました。フィルター事業は、湿式フィルター分野では国内需要が堅調に推移したことから、売上高は前期並みとなりましたが、空気清浄機分野では大型機器案件がなかったことにより減収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は化学品分野の中国向け輸出が米中貿易摩擦の影響を受けて需要減少となりましたが、食品分野の増粘多糖類が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。複合材料事業は、電力分野向け複合材料部材が低調でありましたが、航空機用途が増加しており、全体では増収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は30億円(前年同期比3.5%減)となり、営業利益は2億16百万円(同6.7%減)となりました。

(不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は順調に推移いたしましたが、修繕費の増加が利益を圧迫いたしました。サービス事業の物流分野は取扱荷物量の増加により、また、リネンサプライ事業も取引先ホテルの稼働率上昇により、堅調に推移いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は15億99百万円(前年同期比1.8%増)となり、営業利益は5億22百万円(同4.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は837億46百万円となり、前年度末に比べ12億3百万円の減少となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

負債は、515億8百万円となり、前年度末に比べ9億79百万円の減少となりました。これは主に、仕入債務、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、322億37百万円となり、前年度末に比べ2億23百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.3ポイント増加し、36.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,713	4,254
受取手形及び売掛金	10,910	9,706
有価証券	150	300
商品及び製品	5,358	5,545
仕掛品	1,415	1,438
原材料及び貯蔵品	999	1,097
その他	833	788
貸倒引当金	△50	△37
流動資産合計	24,331	23,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,919	41,975
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,724	△30,931
建物及び構築物(純額)	11,195	11,043
機械装置及び運搬具	27,157	26,839
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,147	△24,915
機械装置及び運搬具(純額)	2,010	1,923
工具、器具及び備品	1,574	1,557
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,464	△1,452
工具、器具及び備品(純額)	109	105
土地	40,853	40,846
リース資産	2,210	2,244
減価償却累計額	△940	△998
リース資産(純額)	1,270	1,246
建設仮勘定	1,381	1,786
有形固定資産合計	56,821	56,952
無形固定資産	208	243
投資その他の資産		
投資有価証券	1,247	1,187
繰延税金資産	1,931	1,861
その他	465	474
貸倒引当金	△56	△65
投資その他の資産合計	3,588	3,458
固定資産合計	60,618	60,653
資産合計	84,949	83,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,051	4,566
短期借入金	9,601	9,874
1年内償還予定の社債	2,130	2,240
未払費用	655	585
未払法人税等	401	30
未払消費税等	218	183
賞与引当金	596	344
関係会社整理損失引当金	164	95
その他	1,357	1,571
流動負債合計	20,175	19,493
固定負債		
社債	2,360	2,530
長期借入金	10,925	10,605
リース債務	1,104	1,073
繰延税金負債	179	177
再評価に係る繰延税金負債	6,452	6,452
退職給付に係る負債	6,412	6,313
役員退職慰労引当金	67	59
修繕引当金	233	267
長期預り敷金保証金	4,149	4,151
長期前受収益	29	18
その他	400	366
固定負債合計	32,313	32,015
負債合計	52,488	51,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	977	977
利益剰余金	7,946	7,789
自己株式	△1,240	△1,240
株主資本合計	19,020	18,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	86
繰延ヘッジ損益	△19	△32
土地再評価差額金	13,681	13,681
為替換算調整勘定	△1,355	△1,345
退職給付に係る調整累計額	△362	△350
その他の包括利益累計額合計	12,081	12,039
非支配株主持分	1,359	1,335
純資産合計	32,460	32,237
負債純資産合計	84,949	83,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,094	9,499
売上原価	8,071	7,586
売上総利益	2,022	1,912
販売費及び一般管理費	1,438	1,454
営業利益	584	457
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	11
持分法による投資利益	9	—
為替差益	21	—
雑収入	14	25
営業外収益合計	57	38
営業外費用		
支払利息	64	58
雑支出	63	61
営業外費用合計	128	119
経常利益	513	375
特別利益		
固定資産売却益	3	6
受取保険金	—	5
特別利益合計	3	12
特別損失		
災害損失	—	26
固定資産除却損	7	1
固定資産売却損	—	1
その他	0	—
特別損失合計	8	29
税金等調整前四半期純利益	508	358
法人税、住民税及び事業税	76	33
法人税等調整額	93	54
法人税等合計	170	87
四半期純利益	338	270
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	277

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	338	270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△50
繰延ヘッジ損益	31	△12
為替換算調整勘定	△145	7
退職給付に係る調整額	43	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	4
その他の包括利益合計	△89	△38
四半期包括利益	249	232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	235
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,570	3,110	1,412	10,094	—	10,094
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	158	158	△158	—
計	5,570	3,110	1,571	10,252	△158	10,094
セグメント利益又は損失(△)	△57	232	545	720	△136	584

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△136百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,055	3,000	1,443	9,499	—	9,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	155	162	△162	—
計	5,061	3,000	1,599	9,661	△162	9,499
セグメント利益又は損失(△)	△125	216	522	614	△156	457

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。